



## 【しろがね特別支援学校のセンター的機能】

### 専門アドバイザーの仕事を紹介します



小学校中学年の自閉症・情緒障害特別支援学級のお子さんに対して、「持ち物の管理が一人でできない」「行動が遅い」「当番を忘れる」という相談がありました。具体的な内容は、授業の準備（教科書やドリルなど、必要な物を机に出すこと）を何回も言葉掛けしても行動できない、また、プリントが机の中にぐちゃぐちゃに押し込まれていて、おたより、水筒などを持ち帰るのを忘れてしまうとのことでした。さらに、手を洗って箸を出し、ナプキンを敷いてエプロンを着て給食のワゴンを取りに行くという一連の行動に時間がかかり、他児と一緒に給食のワゴンを取りに行くことができないとのことでした。

実際に観察してみると、先生は何回も言葉を掛けて促しており、先生の言葉も耳に入らない場面も見られました。子供の特性を分析するとき、WISCの検査を依頼することは多いですが、検査をしないと分析できないということはありません。行動観察で多くのことが分かります。

まず、授業の準備ができないということは、「何を机に出したら良いかが分からない」のかもしれませんが、そのときには、「国語に必要な物は教科書とノート、漢字スキル」のようにカードに書いて示す方法があります。チェック欄を設けて、自分で出せたかどうか丸をつけさせることもできます。

または、「必要な物を机の中から探すのに時間がかかる」という場合があります。そのときには、国語に関する物は赤のテープを背表紙に貼っておく。すると、赤のテープを探せば、国語に必要な物はすぐに見つかります。それでも、難しければ、朝、登校してすぐに、赤のテープのまとまり、黄色のテープのまとまりのように、袋の中に入れておけばすぐに必要な物を机に出せます。

あるいは、準備を開始する時間が遅いため、他児と同じ時間に準備が終わらないという可能性があります。それなら、準備する時間を想定して、あらかじめタイマーをセットするという方法があります。準備ができたなら、教師にシールをもらえるというトークンもあります。

いずれにしろ、言葉掛けのみで行動が改善されることは少なく、それ以外の方法を考える必要があります。専門アドバイザーとして、様々な案を考えさせていただきますので、お気軽にお声がけください。

## 校内研修等での講演会（講師）の予定

|        |                                   |         |
|--------|-----------------------------------|---------|
| 6月11日  | 高校入試に関するケース会議                     | 渋川市内中学校 |
| 6月17日  | 「自閉症スペクトラム児の指導について」               | 前橋市内小学校 |
| 6月24日  | 「通常学級に在籍する気になる子への<br>指導・支援について」   | 渋川市内小学校 |
| 7月22日  | 「特別な支援を必要とする児童がいる通常<br>学級での指導・支援」 | 前橋市内小学校 |
| 9月 3日  | 「行動につまづきのある子と一緒のクラス<br>経営」        | 前橋市保育士会 |
| 10月21日 | 60分ケース会議                          | 玉村町内小学校 |
| 11月21日 | 60分ケース会議                          | 玉村町内小学校 |
| 11月25日 | 60分ケース会議                          | 渋川市内小学校 |
| 12月16日 | 60分ケース会議                          | 玉村町内小学校 |
| 1月20日  | 60分ケース会議                          | 渋川市内小学校 |

## 相談依頼の件数（外部支援）4～11月の結果

| 対象 | 幼稚園<br>保育園 | 小学校  | 中学校 | 高等学校 | その他 | 計    |
|----|------------|------|-----|------|-----|------|
| 件数 | 210件       | 157件 | 29件 | 9件   | 5件  | 410件 |

（その他は関係機関からの相談および研修の講師依頼）

日頃から、本校のセンター的機能の御理解と御協力をありがとうございます。  
障害の有無にかかわらず、子どもの実態把握・指導内容・指導方法について  
悩んでいることがありましたら、お気軽に御相談ください。お待ちしております。



群馬県立しrogane特別支援学校  
 担当：専門アドバイザー 尾岸 純子  
 電話：027-268-6111  
 FAX：027-268-6113  
 メール：shirogane-snes01@edu-g.gsn.ed.jp